

此花新聞

明治十五年八月三日 木曜日 第二十四百七十七號

官令

○第三拾五號
明治十五年七月廿八日
太政大臣 三條實美
大藏卿 松方正義
官署院廳府縣
行政官更服務紀律左の通相定候條此旨相達し候事(別紙次号)
明治十五年七月廿七日
太政大臣 三條實美

○甲第八拾壹號
攝津國四區を除く
郡村川中使の儀水利上支障無之場所の舊慣に依り使用許許
し本年七月より左の通科金徴收候條此旨布達候事
但大阪四區近郡村川中使の義に従前の通
明治十五年七月廿五日
大阪府知事 建野郷三
一川中使用科 壹ヶ年壹坪付金壹圓
○乙第百三號
郡區役所
郡區役所金納出納に關する諸帳簿并經費精算帳表等書式
別冊の通改正候條此旨布達し候事
明治十五年八月一日
大阪府知事 建野郷三

○去月廿七日太政官より號外を以て官署院廳府縣へ左の
通り達せられたり
今般行政官更服務紀律施行候に付て各長官に於て厚く注
意を加へ將來肅に取締相立候儀各所屬官へも告示に及
べし尤も本紀律施行以前の事件の其の自新を任せ更も檢舉
に及ばせ此旨相心得べき事
今般第四十四號を以て行政官更服務紀律相定候に付て心
得候條別紙說明書下付候條其旨趣貫徹候條注意致すべし此
旨内達候事
(別紙略)

○特命全權公使柳原前光六戸の兩君、一等官相當一等年俸
同青木周藏有禮の兩君、二等官相當一等年俸、同井田讓君
の二等官相當二等年俸を下し賜る旨去る二十六日太政官よ
り諸官省へ達せられたり
○我天皇陛下には過般來侍醫等に虎列刺流行の撲滅を御問在
せらる旨は既に昨日の紙上へ記し奉りしが猶も大臣

報

參議の方々を召せられ親しく民間の状況を御問遊ばされ殊
に陸海軍兵士の如き日中暴露し爲に該病を引起さんと御
り難く御防法等々注意を精々其長官に於て厭ひ遣はすべし
との御懸念あり又官中を驚る近衛兵へ豫防手當として金若干
圓を下賜りし哉に聞ぬいと異きと云ふこと
○三條相國には幕中を御はせられ御事務に勉勵せられ
他の大臣參議諸公の所勞は爲め時々欠席せらるも相國には
幕中一日も欠勤なしと聞く
○岩倉右府には此程暑中馬温泉へ入浴の爲め罷退し御旨
願出られし處目下内閣の事務の折衝なる故暫らく旅行は見合
すべく旨達せられ奉りし承り
○參事院に於ての副議長事故ありて議事に欠席せらる、時は議
官由尾藤三君が同院議官の首座なるを以て副議長の席に就る
、事に此程決定されしに聞く
○樞取馬場縣令には近々宮内省三等出仕に補せらるべきやの
風説あり

○去月廿八日印刷局に於て例の如く焼却せられ損紙幣二十
圓五圓二圓札十八圓半圓札六圓四圓札四圓九圓十
圓札一万六千五百圓合計三十五萬五千五百圓なりといふ
○埃及の事も最は鎮定せしめんと安ん居居お積蓄がせ
ト新聞に載する處の電報を見るに中々事容易に治るべし
様子も見ざるのみならず又々大事にも及びかんかの疑
を生ぜざるを得ざるの英政府の兵士糧食運搬の爲め海軍六十
艘を借揚られガルトツト、ウルスレー氏に征東總督の印綬を
授けられありと云ひ殊に是去廿六日倫敦發の電報が最も
近日報道なりと云べしされ此輩前前の歴山太利砲擊の準
備との全く異ものにして又更も英國の大志を埃及を抱くは準
備たるを知れし如何とされ彼歴山太利砲の砲撃は去十二
日の朝より砲聲止し十三日の事なり夫より埃及兵の休戦
の旗を揚て内部引揚げ歴山太利港一旦漸く平定せし去十
七日なり若し其儘にして善い運びか廿六日にせりて更
大數十艘の海軍を雇ひ入れ兵隊糧食を運ばしむるの要も
あるまじく又殊更にウルスレー氏に征東總督の命を下さる
に及ぶまじざるを今日に至りて尙此來あるを見れば英國の志
蓋し小ならざるを知べき歎記して後報を待つ

○六月廿六日アレキサンドリア電報にラッヘツ侯の俄國
に於るレセツ侯に報じて云く蘇士運河の危険ありとの流言
は全く訛傳なりと
○七月廿七日龍動發電報、英兵と埃及兵との今尙激戦中な
りラッヘツ侯は英兵の爲に占領せらる、埃及國回

○兼て評判の有りし如く第三國立銀行の急々株主衆決のうへ
第四十四銀行行を合併せしかば資本金も百萬圓に増すと云
ふ前号に記載せし内務省より諸業物類類製の摸擬物を當博物
場へ運送せらる、と云ふ全く誤聞にて當博物場へ同省より紙製
摸擬物を御注文になり同境内の三輪果が擔當し不日に製造を
調進せらるる筈なりと又聞くに同境の摸擬物、全國中の優等
に位するものといふ

官報

○英國政府は愈々其兵備を勢大にし已にラムレー及びアプ
キルの二要處を占領したり然るときは埃及に於る英國の威力は
益々熾んして今にして諸強國之が準備を爲に非ざる埃及
及全國は既に英人の掌裡に落ちるならん外交家の憂慮する一
大問題となりと云ふ
○露國は公債を募集せん爲め將に倫敦に向つて理事官を派遣
せん此頃露政府は財政困難を極めたるお困り不相當の高
利率にて借入るの覺悟をれども何分其信用乏しくして既
巴里府にて一人も其募集に應ずる者かりし而して其抵當
は中部亞細亞の所領ありと云即今倫敦には多く不用の資金あ
りて財主は之を好き利の代附んと欲し居れども既巴里に於
て失敗せし跡なれしロンバルド街(倫敦の銀行諸會社等編湊
せる町名)にて其募集に應ずる者あるや疑ふべし
○今年近年無き暑さにて明治九年以來六ヶ年間の最高度
と比較するに明治九年は攝氏三十度八、同十年は二十八度四、
十一年は三十二度六、十二年は三十一度、十三年は二十四度二、
十九度五にて十五年即ち去月廿七日の三十四度二分(華氏九十
四度)なるに昇りしが此四五日前より温度の昇るも隨
ひ虎列刺患者の多し増加する處を見れば同病も氣候とは
大關係があるものと見ゆ

○兼て評判の有りし如く第三國立銀行の急々株主衆決のうへ
第四十四銀行行を合併せしかば資本金も百萬圓に増すと云
ふ前号に記載せし内務省より諸業物類類製の摸擬物を當博物
場へ運送せらる、と云ふ全く誤聞にて當博物場へ同省より紙製
摸擬物を御注文になり同境内の三輪果が擔當し不日に製造を
調進せらるる筈なりと又聞くに同境の摸擬物、全國中の優等
に位するものといふ

○兼て評判の有りし如く第三國立銀行の急々株主衆決のうへ
第四十四銀行行を合併せしかば資本金も百萬圓に増すと云
ふ前号に記載せし内務省より諸業物類類製の摸擬物を當博物
場へ運送せらる、と云ふ全く誤聞にて當博物場へ同省より紙製
摸擬物を御注文になり同境内の三輪果が擔當し不日に製造を
調進せらるる筈なりと又聞くに同境の摸擬物、全國中の優等
に位するものといふ

に居るといふ飛だ災難に合の手と請ふべし
全盛通五丁目
梅園平兵衛
青山市兵衛

ののみ
知新堂

東京 深川西森下町 三益堂
大坂 心齋橋通 永堂
西宮 諸國賣捌所 岡島支店
西京寺町 姉小路 上 駸々堂
平野町 心齋橋筋 北入 三益堂
大坂 本町四丁目 岡島支店